

さらに

アップデートする「アクションプラン」を創る (R7)

(4 年担任 三坂 亮子)

校内研修・マスプロとリンクさせ、「算数の授業改善」に特化して進めていく。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																						
PDCA サイクルの計画 全学年共通の計画	R6 R6校内研のまとめ 公開研に向けて活動!	R7 10/31 公開研に向けてみんなで作ろう! ① 算数力把握 ・日常の算数力 ・NRTの分析 ② 校内研究 めざす子どもの姿 共通理解	小石研(全員) 公開研につなげる 指導案作成 (1) 成果と課題をともに 公開研の授業づくり	夏休み中に指導案づくり	10/31 公開研(全員) (2) 成果と課題をともに 子どもたちにかたき 変容についてまとめる	校内研究のふりかえり ① 変化の点について ② 実践例をまとめる ③ めざす子どもの姿の達成度など	次年度へつなげる																												
PDCA サイクルを機能させるために、自分ができそうなことは・・・ ① どこを ② どのように 具体的な手立てを!	5月の時点で 自分自身について分析 ↓ 強み・課題を明確に ↓ 授業改善へ さあ、アクションプランを!	学級の強みは! ◎ 誰の意見も寛容に受け入れる。 ◎ 基礎・基本がしっかり身につけている。 ◎ 教え合い、伝え合いができる。 ◎ 課題に向かって根気強く取り組める。	学級の課題は・・・ ▲ 個人差が大きい。 ▲ 文章を落ち着いて、丁寧に読めない。 ▲ 自分の考えに自信がもてず、発表に消極的。	課題を解決するための授業改善 ★ 本時に生かせる既習を事前確認 ★ 本時に気づかせたい、使わせたい キーワードを明示 ★ ペア、グループなどで相談する場の設定	<table><tr><th>見方・考え方</th><th>子ども向けの表現</th></tr><tr><td>見方</td><td>～に注目する(2、3、4年) ～に着目する(5、6年)</td></tr><tr><td>単純化</td><td>かんたんな場合で考える</td></tr><tr><td>一般化</td><td>いつでもいえるか考える</td></tr><tr><td>簡潔・明瞭</td><td>わかりやすく話す</td></tr><tr><td>類推</td><td>同じように考える</td></tr><tr><td>帰納</td><td>きまりを見つける</td></tr><tr><td>演繹</td><td>わかっていることをもとに考える</td></tr><tr><td>統合</td><td>同じところを見つけてまとめる</td></tr><tr><td>発展</td><td>広げて考える</td></tr><tr><td>日常生活</td><td>生活にいかす</td></tr></table>									見方・考え方	子ども向けの表現	見方	～に注目する(2、3、4年) ～に着目する(5、6年)	単純化	かんたんな場合で考える	一般化	いつでもいえるか考える	簡潔・明瞭	わかりやすく話す	類推	同じように考える	帰納	きまりを見つける	演繹	わかっていることをもとに考える	統合	同じところを見つけてまとめる	発展	広げて考える	日常生活	生活にいかす
見方・考え方	子ども向けの表現																																		
見方	～に注目する(2、3、4年) ～に着目する(5、6年)																																		
単純化	かんたんな場合で考える																																		
一般化	いつでもいえるか考える																																		
簡潔・明瞭	わかりやすく話す																																		
類推	同じように考える																																		
帰納	きまりを見つける																																		
演繹	わかっていることをもとに考える																																		
統合	同じところを見つけてまとめる																																		
発展	広げて考える																																		
日常生活	生活にいかす																																		
	課題解決のため授業改善(授業研で提案したいこと・日常の取り組みなど)																																		
	上の計画 かいてとり こめて、取り組み をすすめていく。 ・授業研の提案 ・アイデアメモ、など				単元計画の見え直しを図る。○ 算数と日常生活を結びつける 課題づくり 「10の見方・考え方の言葉」をリンクさせる 授業づくり◎ 対話活動の活性化。○				単元の内容に合わせ、 先を見通せる単元計画作りができた。 ◎ 算数用語を使って説明 できるよう意識させることを 通して、いっしょにできるように なっている。 ▲ 問題の意図(場面理解)をしっかりと伝えさせる。																										
	後期は ① 既習を授業に生かす(いかに) 掲示、導入で想起、見直し ② 文芸活動で使ったいい キーワードの明示。 ③ 算数コーナー充実 児童が活用しやすい掲示作り																																		
	取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(8月)				取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(12月)				取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(年間反省)																										
	◎ どんな課題にも意欲的に、根気強く取り組む姿が見られた。友達との意見交流も解決のヒントになっている。 ◎ 「10の見方・考え方」がどれが使えるか、自分なりに考えてみる姿が増えた。 ● 自分の考えに自信がないと先に進めない。既習をどう活用すればいいかわからない児童が多かった。見通しをもつ段階まで、じっくり検討させていく必要があった。																																		